

令和6年度 北海道七飯養護学校 学校評価教職員アンケート集計結果

	評 価 項 目		平均
学校教育目標	1	学校教育目標、学校経営の重点について職員間で共通理解が図られ、各学部や寄宿舎、分掌、事務部等の計画に反映されている。※	3.3
	2	学校教育目標、経営方針等は、児童生徒の実態や保護者の願い、地域の実情に応じたものになっている。※	3.4
	3	学校教育目標の具現化に向け、育てたい力を踏まえた指導(日常業務)を行うことができている。※	3.3
学校運営	4	学校予算は、教育活動の必要性や緊急性、優先度に基づいて計画的に執行され、適切な予算執行のため教職員と事務部の連携が図られている。※	3.2
	5	職員会議を始め、各会議は適切に運営され、教職員の共通理解が図られている。※	3.3
	6	各学部、寄宿舎、事務部、分掌等間の情報共有、横断的な業務の連携が図られ、組織的、効率的に業務が行なわれている。※	3.3
	7	ICTを積極的に活用し、効果的・効率的な業務改善に取り組んでいる。※	3.2
	8	コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、教育活動の改善・充実に取り組んでいる。	3.2
教育課程・学習指導・専門性	9	学部間の系統性や連続性を踏まえ、組織的・計画的に評価・改善を行いながら、年間指導計画を作成し、教育課程の適切な編成に取り組んでいる。	3.3
	10	児童生徒一人一人の障がいの状況や特性、発達段階、生活年齢に応じ、子どもの主体的な取組を促す指導に取り組んでいる。	3.4
	11	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、効果的にICTを活用しながら指導している。	3.2
	12	自閉症などの障がい特性を理解し、「分かった」「できた」と感じられる指導に取り組むことができています。	3.3
	13	児童生徒の人権を尊重した指導を行うことができています。※	3.5
	14	「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、保護者等と共通理解しながら指導に取り組んでいる。	3.6
	15	自らの専門性を高め、指導方法の改善など資質向上に向けて日頃から研修に取り組んでいる。※	3.3
危機管理	16	児童生徒の個人情報を適切に管理できている。※	3.5
	17	児童生徒に関わる事故が発生した際、教職員一人一人が危機管理意識をもち、迅速で適切な対応や保護者などへの説明、再発防止に努めている。※	3.6
	18	災害や不審者などに即時対応できる訓練の工夫・改善や危機管理体制づくりに取り組んでいる。※	3.5
	19	いじめ等の未然防止、早期発見及び早期対応に関して、組織的対応の整備ができています。	3.4
	20	児童生徒の手本となり、地域で信頼が得られるよう教育公務員として自覚と責任のある行動ができています。※	3.5
	21	施設設備や教材等備品を適切に整備し、教育環境整備に努めている。※	3.3
支援・連携	22	児童生徒の良さや課題、支援の手立てを学校、寄宿舎、保護者、関係機関などチームで検討し、より実態に応じた教育活動に努めている。	3.5
	23	お互いに尊重し合いながら、協働して生活していく態度を育む交流及び共同学習の推進に取り組んでいる。	3.3
	24	特別支援教育の充実に向け、地域の小・中学校等や関係機関へ情報発信や研修支援、教育相談等、本校の役割について理解・啓発を行っている。	3.3
	25	学校の様々な教育活動や取組等を、保護者等に分かりやすく情報発信している。※	3.3
	26	PTA活動について、保護者と連携し活動内容の検討や推進に努めている。※	3.4
今年度の重点	27	保護者や地域との連携による、子どもたちの学びの機会を広げ、感謝を伝え合う教育活動の推進に取り組んでいる。	3.3
	28	一人一人の適切な学びと、他者との学び合いによる子ども主体の学びの追求に取り組んでいる。	3.4
	29	効果的な教育活動を持続的に行うための働き方改革の一層の推進に取り組んでいる。※	3.2

全体平均値 3.4